

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
【発行日】平成 25 年 2 月 14 日 (2013.2.14)

【公開番号】特開 2012-227973 (P2012-227973A)  
【公開日】平成 24 年 11 月 15 日 (2012.11.15)  
【年通号数】公開・登録公報 2012-048  
【出願番号】特願 2012-182451 (P2012-182451)  
【国際特許分類】

H 0 4 N 7/32 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 N 7/137 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 12 月 26 日 (2012.12.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 3 2

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 3 3

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 3 4

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 3 5

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 3 6

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 3 7

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

**【特許請求の範囲】****【請求項 1】**

画像情報が符号化された符号化データを復号する復号装置において、

復号の対象となる対象マクロブロックがフィールドモードで符号化されており、前記対象マクロブロックに隣接する第 1 の隣接マクロブロックがフレームモードで符号化され、第 2 の隣接マクロブロックがフレームモードで符号化されている場合、前記第 1 の隣接マクロブロックの動きベクトル情報と、前記第 2 の隣接マクロブロックの動きベクトル情報とを前記対象マクロブロックのフィールドモードにあわせるように換算して、前記対象マクロブロックの動きベクトル情報に対応するコンテキストモデルを算出するコンテキストモデル手段と、

前記コンテキストモデル手段により算出された前記コンテキストモデルを用いて、前記符号化データにコンテキスト適応算術復号を行うコンテキスト適応算術復号手段とを備える復号装置。

**【請求項 2】**

画像情報が符号化された符号化データを復号する復号装置の復号方法であって、前記復号装置が、

復号の対象となる対象マクロブロックがフィールドモードで符号化されており、前記対象マクロブロックに隣接する第 1 の隣接マクロブロックがフレームモードで符号化され、第 2 の隣接マクロブロックがフレームモードで符号化されている場合、前記第 1 の隣接マクロブロックの動きベクトル情報と、前記第 2 の隣接マクロブロックの動きベクトル情報とを前記対象マクロブロックのフィールドモードにあわせるように換算して、前記対象マクロブロックの動きベクトル情報に対応するコンテキストモデルを算出し、

算出された前記コンテキストモデルを用いて、前記符号化データにコンテキスト適応算術復号を行う

復号方法。

**【請求項 3】**

復号の対象となる対象マクロブロックがフィールドモードで符号化されており、前記対象マクロブロックに隣接する第 1 の隣接マクロブロックがフレームモードで符号化され、第 2 の隣接マクロブロックがフレームモードで符号化されている場合、前記第 1 の隣接マクロブロックの動きベクトル情報と、前記第 2 の隣接マクロブロックの動きベクトル情報とを前記対象マクロブロックのフィールドモードにあわせるように換算して、前記対象マクロブロックの動きベクトル情報に対応するコンテキストモデルを算出するコンテキストモデル手段と、

前記コンテキストモデル手段により算出された前記コンテキストモデルを用いて、前記符号化データにコンテキスト適応算術復号を行うコンテキスト適応算術復号手段と

によって得られる復号画像情報。